

じんげん asile

大谷大学広報誌
Autumn & Winter 2010

大谷大学のめざす
「学士力」とは何か

私たちの課題
テーマ

学

GAKUSHI

士

RYOKU

力

社会がグローバル化し、大学生の資質・能力の向上が求められる今、
文部科学省は大学生が卒業までに身につけるべき能力を「学士力」と名付け、
その参考指針として、「知識・理解」「汎用的技能」「態度・志向性」
「統合的な学習経験と創造的思考力」の4分野・13項目を示しています。
各大学でそれぞれの取り組みが進むなか、
大谷大学ならではの特色を活かす「学士力」とは何か、
大谷大学だからこそ身につけられる「学士力」とは何かを、語り合いました。

知識を身につけるだけ
じゃない大学での学び

山本 とらえ方によっては、かなり広い意味合いを持つ「学士力」。ここでは、学業はもちろんサークル活動や就職活動などを含めて、大学での学びとして考えていきたいと思えます。後藤さんのゼミでは「学士力」が取り上げられたそうですが、これは難しいと思う点はありませんか？

後藤 私が難しいと感じたのは「態度・志向性」分野の「チームワーク、リーダーシップ」という項目です。ゼミでは班に分かれて経典に関する研究活動を行っています。リーダーはメンバーの意見をまとめたり、まとめた内容を全体に発表したりします。そこではリーダーシップはもちろん、全体のチームワークが問われてきます。

門脇 高校の時と大きく違うのは、一人でコツコツ勉強するだけでは済まないという点でしょう。いろいろな人の意見を聞きながらそれをまとめつつ、みんなが納得するカタチのものを大勢にプレゼンテーションしていく…理解力や伝達力、表現力など大きな意味でのコミュニケーション力を身につけるということだと思います。その点では人文情報学科でも同じでしょう？

松田 そうですね。私のゼミでは各自がデータベースを作成するのですが、3年生の5月に卒業論文テーマを発表し、4年生の方から厳しい意見やアドバイスを受けます。それを基に改善し、3ヶ月後にまた発表と…。そうした上級生とのコミュニケーションのなかで、より良いデータベースを考えていくというものです。

山本 さすがに4年生は視点が違う、ということはありませんか？



松田 自分はまだ頭でしか考えていないんだなと痛感しますね。「その考えだと実行は難しい」「情報範囲が広すぎて収集は無理」など、経験に照らしたアドバイスはとても参考になります。

門脇 やはり1年間の実体験で学び取ることはとても大きいですね。ひとつのアイデアを実行する際、現実にはさまざまな要素があつて思い通りにいかないことが多い。3年生と4年生の1年の差は、単に知識量だけではなく、自分の考え、だけでは上手く行かないということを実感として知っている、とも言えますね。

山本 では、大学に入つて今までのいろいろな経験をして、自分自身成長したなと思う点はありますか？

松田 中：高では、決められた枠の中で言われたことをするというイメージが強いのですが、大学では授業の選択ひとつをとっても、自分から求めたいか、何と何も成長しないと思うんですね。入学してすぐの「学びの発見」という授業でもそうですけど、授業への取り組み方でどれだけ成長できるかが違ってくる。そうした中で、自分自身の意識は確かに変わってきていると思います。

後藤 高校時代には勉強に関して人の話を聞くことはなかったのが、大学でいろいろな人のさま

ざまな意見や考え方に触れたのはとても新鮮でした。自分とは違う解釈に「そんな風にも考えられるんだ」と。

門脇 子どもの頃は元氣よく手を挙げて自分の意見を発表するだけで良かったものね。でも、大学ではどうはいかない。自分に考えがあるように人にも考えがある。お互いの違いを理解し合うなかで、またひとつ成長できると思うんです。違う意見のなかに、どういう着地点を見つけているか。現在おふたりは、そんな訓練をしているところなのだと思いますよ。

自分本位ではなく人の
ことを考えるところに
成長がある

門脇 先ほど松田さんのお話の中で「学びの発見」の授業についてのコメントがあつたけど、「学士力」というのは、恐らく、変わることが面白い、という感覚を持つことなんだと思います。いろいろな人と意見をぶつけ合いお互い理解し合うなかで、新しい自分を発見していく。大学の学びというのは、知識を増やすということだけではないのでしょね。自分以外の人がどう考えているかを考える…とりわけ仏教などは、経典そのものが難解で、それを懸命に理解し考えるということですし。後藤さんは経典というものを介して、新しい発見はありましたか？

後藤 経典を読んでいると、昔の人も私たちと同じように悩んだりしたんだと感じて、嬉しいというか何だかワクワクします。また、同じものを見ていても別の人はまったく違った解釈をする。ひとつのテーマに対し、さまざまな角度から見ることができるといことが面白いですね。

門脇 松田さんはお菓子やパンのデータベースを作るそうですが、そこでも他の人がどんなことを考え、求めているのかを見据えることが重要ですよ。

松田 そうですね。お菓子やパンのデータベースは、すでにたくさんあると思います。そこに、い



文学部長
哲学科 教授

門脇 健

広報編集委員
人文情報学科 准教授

山本 貴子

人文情報学科
第3学年

松田 典子

仏教学科
第3学年

後藤 秋華

「学士力」とはより良 く生きる力を養うこと

門脇 人のつながりは、もちろん楽しいことばかりでなく苦勞することも多いですよ。しかし、社会に出ればいろいろなつながりの中で生きていかななくてはならない。お二人は人とのつながりで、苦勞したことはありますか？

松田 データベースの作成では、使う人のことを考えることが大事ですが、やはりどこか自分中心になっていると思うんですね。でも、社会では第二にお客様のことを考える。自分ではなく、いかに使う人にとって良い物になるか…そのあたりは、私はまだまだゼミの中で考えていかなければならないと感じました。

門脇 保護者向けの就職ガイドブックの中にも、「職業というものは要するに人のためにするものだ」という夏目漱石の言葉が引いています。人のためになる結果が己のためになる…そこに気が付かないと良い仕事にはならないということです。

山本 そこに自己実現があるのでしょうか。

門脇 そうですね。そして、自分一人の世界では自己実現はあり得ない。他人を理解することによって自分も他人から理解される、そういう場所が形成されていくというのが、おそらく「働く」ということなのかな。「学士力」というのは、人とのつながりのなかで、自分を実現させていく力…という言い方ができるかなと思いますね。

後藤 苦勞ではないですが、意外な発見がありました。人と話すのが苦手だった私は、他人もそうだと思うんですけど、でも、たくさんの人と接してみると自分の違いが楽しくて、今では話をするのが好きになりましたね。

松田 私はすぐに自分の意見を言ってしまう。

に新規性や自分の独自性を加えられるか…なんですけど、やはり使う人が見たい情報や機能をいかに作り出すかが大切です。

山本 4年生になると、さらに他人の評価も入りますね。「もっとうこうしたほうがいい」と、お互いに意見を申し合っただけです。

門脇 後藤さんも松田さんも、つまりは、多くの人の意見を加えながら今の自分の考えを検証しているのだと思います。また、素材に関しても、これまで長い歴史の中で削り上げられたものを今

あなた方が受け継いで、そこに自分なりの工夫を加え、また次の世代に伝えていく…大学での学びは、そういう作業だと思っています。過去からの贈り物を我々が感謝を込めて受け継ぎ、それを次の世代に伝える。それが大谷大学のあり方だと思われ、社会に出てからも非常に大きな力になるんじゃないかな。

山本 松田さんはインターシップの面接を体験していますけど、実際に社会で働く人と接することで何か学習できましたか？

門脇 保護者向けの就職ガイドブックの中にも、「職業というものは要するに人のためにするものだ」という夏目漱石の言葉が引いています。人のためになる結果が己のためになる…そこに気が付かないと良い仕事にはならないということです。

山本 そこに自己実現があるのでしょうか。

門脇 そうですね。そして、自分一人の世界では自己実現はあり得ない。他人を理解することによって自分も他人から理解される、そういう場所が形成されていくというのが、おそらく「働く」ということなのかな。「学士力」というのは、人とのつながりのなかで、自分を実現させていく力…という言い方ができるかなと思いますね。

相手が返してくれたらいいけど、返してくれない場合もあるんです。ですから、主張するだけでなく、共感し合うことも大事にしていきたいですね。自分の意見はしっかりと伝えつつ、相手の思いを察知したり、引き出したり、両方できる人間になりたいと思っています。

門脇 それはとても大事なことです。今はインターネットが普及して、誰もが主張できる時代になったけど、それで社会は幸福になったかといえば決してそうではない。これからの社会に求められるのは、単に知識だけではなく、単に自己主張するだけでもない、人を敬愛し感謝し、その中で自分を高めていくことなんだと思います。そして、大谷大学の変わらない教育理念もそこにある。相互の敬愛は学ぶ場でも働く場でも必要です。同時代の横のつながりはもちろん、過去から未来への縦の時間軸というつながりもそう。自分たちが受け取ってきたものをより良いものにして未来へ渡す…働くというのは、本来そういうことだと思えます。目先の利益や自分のことだけしか考えない、未来の地球環境がどうでもいいという考えでは、本当に良い仕事はできない。学生の本務つまりチューデント・ワークとしての卒論を重視するのも、人類の歴史を受け継ぐ書籍を通じた学習を大事にするのも、そういう感覚を養うためだと言えます。人とのつながり、社会の中でより良く生きる力を身につける…それが、大谷大学のめざす「学士力」だと思っています。



紫明祭 2010

「縁joy」をテーマに、
みんなでひとつになって
盛り上がりよう!



学生部長
真宗学科 准教授
木越 康



学園祭実行委員会委員長
真宗学科 第3学年
廣瀬 仁

木越 毎年テーマ決めでは苦労をしているのですが、今年度のテーマは何ですか？

廣瀬 今年度のテーマは「縁joy」です。二年に一度しかない学園祭を生生の思い出として楽しんでほしい、という願いを「enjoy」に込めました。また「en」を「縁」にすることにより、学園祭に参加される皆さんがイベント等を通してたくさんの人と出逢い、「縁」という言葉の意味を感じ取ってもらいたいという思いも込められています。

木越 「縁」という言葉は仏教用語で、とても大事な意味を持つものだと思います。知っていますか？

廣瀬 自分が真宗学科ということもあり、「縁」という言葉はよく耳にしていましたし、「縁」という言葉の意味としても私たち実行委員会一同意識していると思います。

木越 在学生だけでなく、学園祭期間中にはホームカミングデーなどもあり、本学と「縁」があるO・B・O・Gの方々も来られますが、何か思いがありますか？

廣瀬 互いに競い合い、励まし合いながら苦楽を共にしたこの学び舎に、来られ学園祭に参加されることで、青春時代を思い出してもらえたら嬉しいです。ぜひ今の学生が、何を考え、どのようなことをこの「紫明祭」で伝えようとしているのか見て頂けたらと思います。

木越 地域の方々や父母兄弟の方々が参加できるものもあるのでしょうか？

廣瀬 模擬店や展示、フリーマーケットや参加型イベントを現在企画しています。どのイベントも、学園祭に来られた皆さんに楽しんでもらえることを第一に考えています。

木越 大谷大学らしい企画というのは、何かありますか？

廣瀬 東本願寺と協力し、御遠忌のマスコットキャラクターである「鸞恩(らんおん)くん」「蓮(れん)ちゃん」「あかほんくん」が本学に来て風船を渡すイベントを企画しています。子どもさんをはじめ皆さんに是非楽しんでほしいです。

木越 テーマで触れられている「縁」は、仏教思想の基本語です。それに「joy」を加えることは、たいへん面白いですね。すべてのものは互いに支え合いながら存在する、相依相待の関係にあるというのが「縁」の思想です。あらゆるものの縁をいっただいて「自己」という存在が現象しているというのが、「縁」です。そのことに「joy」がつくとはいったいどういうことなのだろうか、いい意味でずいぶん考えさせられますね。「縁」は、ただ存在することの事実を語るものですが、それに「joy」という「意味」を見出そうとするのですから、このテーマは意味の深い言葉かもしれませんね。

廣瀬 私たちが考えていた以上に深いテーマであることにあらためて気づきました。「つながり」と「楽しむこと」という二つの意味を込めた「縁joy」をテーマに、みなさんとひとつになり盛り上げられる学園祭となるよう願っています。



紫明祭 2010 イベント一覧【抜粋版】

11月12日(金)

前夜祭 祭華繚乱 17:00~19:30

2010年度紫明祭を盛り上げるための前哨戦。タップダンスやビンゴ大会等を予定。

11月13日(土)

谷大仮装グランプリ 13:00~14:00

参加者に仮装をしてもらうコンテスト。

コンサート 17:30~19:30

プロのアーティスト「MiChi」によるコンサート。

13日(土) 各クラブの日頃の活動成果を展示、
またキャンパス内には
14日(日) 40以上もの模擬店も出店予定。

11月14日(日)

young gun music 12:00~14:30

学内で活動している音楽団体のライブ。

フリーマーケット 開催時間未定

大学近隣の方々に参加するフリーマーケット。

BALOOON! 14:00~16:00

御遠忌マスコットキャラクター『鸞恩(らんおん)くん』『蓮(れん)ちゃん』『あかほんくん』が風船を配布。

後夜祭 祭色兼備 16:30~19:30

2010年度紫明祭の幕引き。ダンスや腕相撲大会等を予定。

“私たちの先生”

教育・心理学科 講師
小川 健一

京都市教育委員会指導部地域教育専門主事、京都市の小学校校長などを歴任し、2010年4月本学教育・心理学科に講師として着任。専門 / 理科教育

皆さんは「理科の先生」と聞いて、どんな姿を思い浮かべますか？ 白衣を着て教壇の上から「しかも面」で難しい話をする…そんな暗いイメージを見事に吹き飛ばし、理科の楽しさを教えてくれる「教科(理科)」担当の小川先生を紹介します。

「教科(理科)」では、小学校教諭としての専門性を身につけるため、実験や模擬授業などの実践的な授業を行うのですが、なかでも小川先生に教わる実験の授業は本当に楽しいですね。「単なる検証実験ではつまらない。いろいろなことに興味を持って、失敗の中で学ぶことも多い」

という指導のもと、全ての学生が実験・観察をこなします。時には、興味が湧きすぎて、授業から離れ顕微鏡をのぞき続けることも。そのなかで私たち学生は、物事への探求心、目標を実現するためのプロセスなど、失敗を乗り越え問題解決する力を、楽しみながら学ぶことができます。

また、理科室の横には、みんなで作った畑があり、そこで花や野菜を育て観察日記をつけています。実際に植物の成長を目の当たりにすると、教科書には書かれていないさまざまなことを発見します。手順どおりにやっているのに、植物

いつも一緒に笑い、驚き、時には悩み 学ぶことの面白さ、楽しさを教わりました。

が上手く育ってくれなかったりすること…。こうした経験の一つひとつが、やがて教師になって子どもたちを教えるとき、「生きた言葉」となっており、より良い指導につながるというのが、小川先生の教え。そんな先生は、授業が終わった後、こっそりとみんなの植物に水をやるなど、陰日向になりサポートしてくださいます。

何より小川先生の授業が楽しいのは、先生ご自身が誰よりも熱心に楽しそうにしておられるから。授業中も教壇に立つのではなく、いつも私たちの近くにおいて一緒に笑ったり驚いたり、時には悩んだり、私たちと同じ目線で語ってくださいるからだと思います。そして、みずから経験し、考えることの大切さを教えてください。



●紹介してくれたみなさん 写真左より
教育・心理学科第2学年 前川 瑠美さん / 新宅 正幸さん / 福浦 友香さん / 宮川 真理子さん / 多田 徹之さん



ただ教科書を読み文字を書くだけではない、実際にモノに触り自分自身で試すことで、学ぶべきことが身に染み通っていく…そんな生きた経験、生きた知識を、将来子どもたちと共有していくことが大切なのだと学びました。

「高校までは理科がキライだった」「実験も見ていただけでつまらなかった」という私たちが、今では理科好きになったのも小川先生のおかげ。今度は自分たちが、少しでもたくさんの子どもたちに「理科が好き！」と言ってももらえるよう頑張っていきたいです。

先生から 学生たちへの メッセージ

長年、初等教育の現場にいて感じたことは、知識的に優秀な先生が必ずしも児童・生徒にとって良い先生ではないということ。科学の面白さ、楽しさは、自然から学ぶこと。みずから体験し、失敗から何かを発見していくことです。たとえば実験ひとつをとっても、先に結果があり、それを単に検証するだけのものでは、そこから新たな発見やワクワクするような未知に対する興味・探求は生まれません。単に教科書をなぞるだけでは、本当の意味での考える力、学ぶ力は身に付かないと思います。本学は、模擬授業の実践ができる充実した設備がある数少ない大学です。理科室は実際の小学校を視察し、実践的な指導力につながるよう作られています。この充実した学びの場で、学生たちには学ぶ楽しさ、科学の面白さを是非感じて欲しい。そしてそれを、子どもたちと同じ目線で語り、一緒に分かち合える…そんな小学校教諭に育つことを願っています。



EVENT
イベント

2010年度 新入生歓迎祭 **若葉祭** 4/10^{sat}

新入生を歓迎する「若葉祭」が開催されました。各クラブのパフォーマンス、ダンスや音楽の楽しいライブに、フレッシュな笑顔がたくさんあふれる若葉祭となりました。



2010
Campus
topics

Spring ▶▶▶ Summer

若葉祭

毎年オリエンテーション期間中に行われる、学生会主催の新入生歓迎イベント。学内に特設ステージ・各クラブのテントを設置し、新入生の勧誘を行うとともに、日頃の活動成果を発表する場ともなっています。

2010年度 課外教育行事 **異文化との出会い**

7/7^{wed}



今年度の課外教育行事「異文化との出会い」として、本学仏教科第2学年の山下正樹さんが所属する関西ジェンベ倶楽部による「アフリカ音楽」の演奏会と、オスマン・サンコン氏講演会「ギニアと日本」を開催いたしました。迫力あるアフリカ音楽の生演奏で会場は大いに盛り上がり、観客の飛び入り参加も見られるほどでした。当日は約350名の来場があり、「アフリカ音楽に興味を持った」、「サンコン氏の「違いを認める」という言葉が印象に残った」などのコメントを多数いただきました。

2010年度 **石間奨学金奨学生証書授与式**

7/16^{fri}

「石間奨学金奨学生証書授与式」が尋源講堂にて執り行われました。今年度は、選考のうえ長井浄子さん（真宗学科第4学年）、赤坂俊幸さん（哲学科第4学年）、山本奈津美さん（幼児教育保育科第2学年）の3名が奨学生に採用されました。3年前から始まった石間奨学金は、石間裕氏からの寄付金を財源としており、大谷大学・大谷大学短期大学部での学びに強い意欲を持ちながらも、学費の支弁が困難な最終学年の学生に対して給付されるものです。奨学生証書授与式終了後には、懇談会が行われ和やかな雰囲気の中意見交換がされました。



記念撮影

人事
情報

依願退職 [教育職員] 芦津 かおり(准教授・文学部) □ 2010年9月30日付
[事務職員] 笠沼 徳昭(学生支援部) □ 2010年5月31日付
[事務系嘱託] 長谷川 綾子(学生支援部) □ 2010年5月31日付
□ 竹中 葵(教育研究支援部) □ 2010年7月31日付
□ 田中 恵理(企画・入試部) □ 2010年9月30日付

新規採用 [事務系嘱託] 高橋 良子(学生支援部) □ 2010年6月1日付
□ 榎川 みのり(教育研究支援部) □ 2010年10月1日付
□ 前田 幸子(企画・入試部) □ 2010年10月1日付

校
友
活
動

2010年度「大谷大学・同窓会 全国縦断夏季八十講」ならびに「支部総会」の開催について

7月から9月にかけて、「大谷大学・同窓会 全国縦断夏季八十講」が開催されました。夏季八十講は、全国に80支部ある同窓会支部と、大谷大学とが協働して開催するもので、同窓生・在学生はもとより、広く市民にも公開され、地域社会の文化興隆に大きな役割を果たしています。また今年度は、「金沢支部」「岡山支部」「福岡支部」の各支部において、同窓会が設立母体となるNPO法人「尋源舎(じんげんしゃ)」との共催で、「仏教公開セミナー」として実施されました。

→ 詳しくはwebで! (短縮URL) <http://bit.ly/btiH0r>



同窓会金沢支部「仏教公開セミナー」の様子

硬式野球部より3名が国際野球大会に出場

7/9(Fri)~7/18(Sun)



7月9日(金)よりオランダで開催された、国際野球大会「第25回ハーレムベースボールウィーク」。

硬式野球部の平岡涼監督(本学事務職員)、増田竜也さん(投手/仏教学科第4学年)、細川智斗世さん(外野手/人文情報学科第3学年)の3名が選抜メンバーとして出場し、全日程を終了して帰国しました。今大会は、京滋大学野球連盟の選抜チームが日本代表チームとして出場し、世界各国の強豪を相手に好戦績を収め、3位(3勝5敗)となりました。約10日間の熱戦を終えた代表チームは、互いの技量を認め合い今後のリーグ戦での再会を約束して解散しました。

大会日程・戦績/会場は全てPim Mulier Hankbal Stadion

2010/07/09(Fri)	JAPAN 0-6 CUBA
2010/07/10(Sat)	JAPAN 4-2 USA
2010/07/11(Sun)	JAPAN 0-5 NETHERLANDS
2010/07/13(Tue)	JAPAN 1-3 CHINESE TAIPEI
2010/07/14(Wed)	JAPAN 4-2 CUBA
2010/07/16(Fri)	JAPAN 2-5 CHINESE TAIPEI
2010/07/17(Sat)	JAPAN 9-10x NETHERLANDS
2010/07/18(Sun)	JAPAN 16-6 USA
大会戦績	最終順位 1位 NETHERLANDS 7勝1敗 2位 CUBA 6勝2敗 3位 JAPAN 3勝5敗 4位 USA 2勝6敗 5位 CHINESE TAIPEI 2勝6敗
	対戦成績 VS NETHERLANDS 2敗 VS CUBA 1勝1敗 VS USA 2勝 VS CHINESE TAIPEI 2敗

2010年度春季大会結果

<p>卓球部(男子)</p> <p>関西学生卓球リーグ戦 IV部Cブロック2位(IV部残留)(4勝1敗)</p>	<p>柔道部</p> <p>京都学生柔道大会 2部1位(3勝)</p> <p>関西学生柔道優勝大会 2部3位(2勝1敗)</p>	<p>バドミントン部</p> <p>京都府知事杯争奪 京都学生バドミントンリーグ戦大会 3部Aブロック7位(3部残留)</p> <p>関西学生バドミントン春季リーグ戦 6部Cブロック4位(6部残留)</p>	<p>陸上競技部</p> <p>第87回関西学生陸上競技対校選手権大会 個人(男子10000mW)5位入賞 (西村慈生 文4)</p> <p>第65回京都陸上競技選手権大会 個人(男子10000mW)3位入賞 (西村慈生 文4)</p>
<p>卓球部(女子)</p> <p>関西学生卓球リーグ戦 IV部4ブロック4位(IV部残留)(2勝3敗)</p>	<p>サッカー部</p> <p>第39回関西学生サッカー選手権大会 3回戦敗退(トーナメント戦)</p> <p>第88回関西学生サッカーリーグ 前期 3部Bブロック2位(8勝1敗)</p>	<p>ソフトテニス部</p> <p>関西学生ソフトテニス春季リーグ戦 5部Dブロック4位</p> <p>京都学生ソフトテニス大学対抗 Aブロック3位</p>	<p>跆拳道部</p> <p>第5回仙台市親善テコンドー選手権大会 男子一般初級-58キロ級以下 準優勝 (中垣広幸 文3)</p>
<p>硬式野球部</p> <p>京滋大学野球連盟春季リーグ戦 I部3位(6勝7敗)</p>			

Campus Information

7/2(Fri) 人文情報学科 iPadを利用した 教育プログラムの構築を発表

人文情報学科では、2011年4月に高性能なモバイル情報端末であるiPadを新入生および全在学学生に無償配布し、新たな教育プログラムを構築することを7月2日(金)の報道機関対象の説明会で発表。将来、学生たちがコンテンツビルダーとして、クリエイターとして、ITの高度運用ができるエンドユーザーとして社会で活躍することを目的に、2011年度から教育プログラムの刷新を行っていくことを決定しました。

→ 詳しくはwebで!(短縮URL)
<http://bit.ly/dmFELK>



7/16(Fri)~ 人権啓発コンサート 『HUMAN LIVE KYOTO 2010』 エコキャッププロジェクトに参加!

本学では、主に教職員が中心となってエコキャップ(ボトルキャップ)を2008年度から集めはじめ、約2,000個(約5kg)が回収されていましたが、今回のプロジェクトへの参加に向けて学生・大学関係者にも協力を呼びかけ、回収されたエコキャップは約5,600個(約14kg)となりました。エコキャップは、学生の川井柚香さん(教育・心理学科第2学年)とともに京都駅中央コンコース前広場に設置されたプロジェクト本部に提出してきました。

→ エコキャップ運動
ボトルキャップを集め、再資源化業者に販売して得られた売却益の一部を、開発途上国の子ども達へのワクチン代として寄付する運動。約800個で子ども1人分のワクチン代(約20円)になるとされています。



学内食堂 「HAPPY COOK」 Twitterの試行運用開始!

本学学内食堂「HAPPY COOK」では、ツイッターでの情報提供を試行的に開始しました。主なツイート(つぶやき・情報発信)としては、バリエーション豊富な日替り定食をはじめ、オススメのメニューやキャンペーンなどが中心となります。



→ ツイッターアカウント
[@tenzo_twit](https://twitter.com/tenzo_twit)
→ URL
http://twitter.com/tenzo_twit

キャリアガイド

1 現在の就職環境と就職活動の状況について

現在の就職環境は、長引く経済不況を受け、就職氷河期の再来ともいえる厳しい状況となっています。新卒の有効求人倍率は、一昨年は1.14倍(1人に対して1.14社から求人がある)、昨年は1.62倍、今年は1.28倍まで低下しています。最近の就職活動の状況を表すキーワードに、①早期化、②厳格採用、③一極集中、④長期化があります。

- ① 学生の就職活動の開始時期が第3学年の夏頃からと早期化しています。
- ② 企業は、予定人数に満たなくても基準を下げてまで採用しません。
- ③ 企業の採用が第4学年の春に集中し、秋以降の採用は以前と比べ半分以上に激減しています。
- ④ 結果、内定がとれず就職活動が長期化している学生が増えています。

また、新卒採用と中途(既卒)採用の求人の割合は現在では8対2といわれ、圧倒的に新卒での就職が有利で、卒業後の就職活動はさらに厳しいといえます。

このような状況を踏まえ、企業の採用試験がピークになる第4学年の春までに十分な就職活動の準備をしておくことが肝心です。

また、内定がなかなか出ないと自信をなくし、途中で諦めてしまう人もいますが、卒業まで決して諦めないことです。

そのためには、周囲の励ましが必要です。就職活動は、学校から社会へと踏み出していく大きな転機です。初めての経験で戸惑いや不安も多いと思います。

キャリアセンターでは、就職活動の準備をするための様々なプログラムを用意しています。また、個々の学生に応じた支援を行なうため、個別相談体制の強化を図っています。是非、キャリアセンターを活用下さい。

2 2009年度就職実績について

昨年度、短期大学部は、98.7%と高い就職内定率でした。一方、文学部では、81.4%と前年比で8.9ポイント低下しました。この状況を、京都の私立大学の文学部で内定率を比較すると、15大学中5位(読売新聞「大学の实力調査」より)でした。厳しい状況下ではありますが、就職活動の準備をしっかり行い、前向きに活動が続けることが結果に繋がっていくといえます。

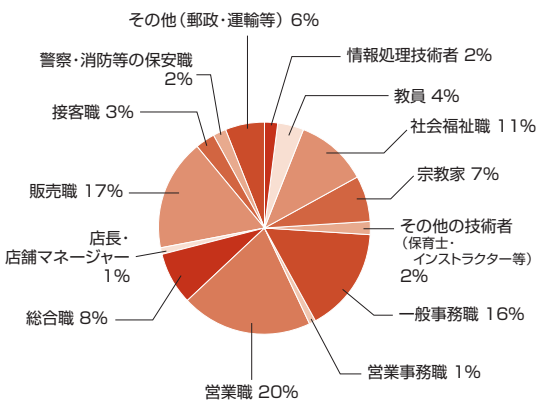
2009年度卒業生進路決定状況

文学部

卒業生	就職希望		進学		聴講生科目等	一時的な仕事に就いた者	左記以外
	就職者	就職活動継続	大学院	大学短大専修学校			
779	447	102	41	37	17	69	66

就職率 = $\frac{\text{就職者}}{\text{卒業生}}$	内定率 = $\frac{\text{就職者}}{\text{就職希望}}$
57.4%	81.4%

就職決定職種別



製造業

(株)たねや
(株)野村佃煮
新江州(株)
(株)資生堂
マエダ薬品商事(株)
(株)サンユウ
オブテックス(株)

情報通信業

(株)インフォメーション・ディベロップメント
(株)ユビキタスエナジー
(株)アシスト

運輸業

(株)サカイ引越センター
西日本旅客鉄道(株)
東海旅客鉄道(株)
名古屋鉄道(株)

卸売業

(株)AOKIホールディングス
ウライ(株)
(株)トーホー
尾家産業(株)
(株)三笑堂
ニシムラ(株)
シンコー(株)
花王カスタマーマーケティング(株)

小売業

(株)サークルKサンクス
(株)平和堂
ユニー(株)
(株)ニューヨーカ
(株)しまむら
(株)ユニクロ
(株)ライトオン
(株)三陽商会
青山商事(株)
(株)ドン・キホーテ
上新電機(株)
(株)アインファーマシーズ
(株)キリン堂
(株)メガネトップ
(株)ヨドバシカメラ

金融業

(株)紀陽銀行
(株)高知銀行
京都信用金庫
京都中央信用金庫
京都北部信用金庫
但馬信用金庫

不動産業

(株)レオナルドS21
すみしん不動産(株)
日本駐車場開発(株)

物品賃貸業

(株)ダスキン
エスアールジータカミヤ(株)
ワタベウェディング(株)

宿泊業

(株)ミリアルリゾートホテルズ
リゾートトラスト(株)

医療・保健

(医)十全会
独立行政法人
京都医療センター

社会福祉業

(社福)柗野福祉会
(社福)近江ふるさと会
(社福)青祥会
ワタミ(株)

教育・学習

京都市教育委員会
京都府教育委員会
大谷大学

サービス業

遠州中央農業(協)
京都中央農業(協)
長野県信用農業(協組連)
郵便事業(株)
郵便局(株)
非破壊検査(株)
(財)日本モーターボート競走会
(株)ワークアカデミー
(株)セカンドストリート

宗教

真宗大谷派宗務所
真宗弘光寺派宗務所

公務

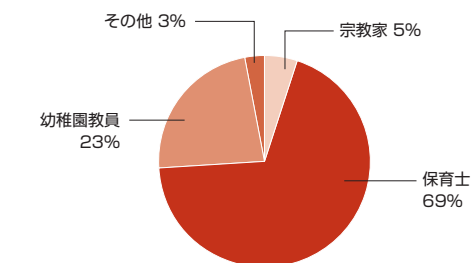
京都府警察本部
滋賀県警察本部
尼崎市役所
福知山市消防本部
兵庫県警察本部
大阪府警察本部

短期大学部(仏教科・幼児教育保育科)

卒業生	就職希望		進学		聴講生科目等	一時的な仕事に就いた者	左記以外
	就職者	就職活動継続	大学院	編入			
101	77	1	1	7	1	9	5

就職率 = $\frac{\text{就職者}}{\text{卒業生}}$	内定率 = $\frac{\text{就職者}}{\text{就職希望}}$
76.2%	98.7%

就職決定職種別



保育所

日野町職員(保育士)
守山市
あやめ保育所
安楽保育園
牛ヶ瀬保育園
江ノ口保育園
上賀茂保育園
北白川いずみ保育園
朱い実保育園
かすが保育園
このしま保育園
兜台保育園

西院保育園

桜木保育園
志津保育園
たかつかさ保育園
ときわ保育園
鷹ヶ峯保育園
月かげ保育園
桃嶺保育園
二条保育園
ノブミ保育園
柗野保育園

みのり保育園

村松保育園
紫野保育園
安井保育園
八王子保育園
第二あけぼの保育園
まこと保育園
たんほほ中条保育園
南山城村立南山城保育園
彦根社会福祉会

幼稚園

日吉幼稚園
あかね幼稚園
大原野幼稚園
慧日幼稚園
紫明幼稚園
まこと幼稚園
彩都敬愛幼稚園
寺之内幼稚園
高倉幼稚園
ふじのき幼稚園
平川幼稚園
佛光大学付属幼稚園
みのり幼稚園
安町幼稚園

2009年度決算

2009年度決算は、公認会計士及び監事の監査を経て、5月24日に開催された学校法人真宗大谷学園理事会・評議員会において承認されました。本学の会計は、公認会計士による監査を定期的に受けて処理されています。また、「学校法人会計基準」に従って、「資金収支計算書」「消費収支計算書」「貸借対照表」を作成し、決算承認後、文部科学大臣に届け出ています。

資金収支計算書

資金収支計算書は、その年度に実際に収納し、また支払った資金の収入と支出について、その期末を明らかにするものです。資金収入には、授業料や入学検定料、寄付金、国からの補助金のほか、次年度の授業料等の前受金などが含まれます。資金支出には、人件費や教育研究経費、管理経費、借入金返済支出、施設関係支出、設備関係支出などが含まれます。

2009年度の収入の部では、学生生徒等納付金収入が前年度比2.8%減となりました。手数料収入は、前年度比12.2%減となりました。これは、前年度は教育・心理学科の開設により、入学試験の志願者の大幅増がありました。開設2年目になり志願者数が減少したためです。補助金収入では、6.7%減となりました。事業収入は、受託研究などで19.1%増となりました。

支出の部では、人件費が教員、職員とも減となっています。教育研究経費は、ほぼ前年並みでした。教育研究経費には就職情報の配信や、緊急情報の配信システムの導入費等が含まれています。また、教育・心理学科開設のための教材の購入費も含まれています。管理経費は、前年度11.8%減となりました。前年度では、教育・心理学科の開設のために学生募集の広報費を増額していましたが、2009年度ではその分を減額したためです。施設関係支出では、4.5号館を建築したために、建物支出が6億2800万円、構築物支出が6200万円の支出となりました。設備関係支出には、4.5号館建築にともなつて、机や椅子

大谷大学・大谷大学短期大学部 財務概況

などの備品を購入した教育研究用機器備品支出が含まれています。

消費収支計算書

消費収支計算書は、授業料や寄付金などの収入（帰属収入）と、施設・設備関係の減価償却額や資産の売却額などを含む、その年度に消費する支出（消費支出）の内容及び均衡の状態を明らかにするものです。教育研究を提供する学校法人は、学校を永続的に維持する責任がより一層求められています。そのため、帰属収入から必要な資産を継続的に保持するために組入れる基本金への組入額を引いた額（消費収入）と、消費支出とのバランスを見ることにより、将来的な財政の健全性を見ることが重要になってきます。この点で、資金収支計算書に比べて消費収支計算書は、長期的な観点をもつているものといえます。消費収支計算書のうち、資金収支計算書と重複す

2009年度資金収支計算書(2009年4月1日～2010年3月31日) (単位 円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	4,028,399,750	人件費支出	2,762,686,652
手数料収入	117,708,950	教育研究経費支出	1,102,061,808
寄付金収入	181,244,746	管理経費支出	461,367,178
補助金収入	411,769,906	借入金等利息支出	25,664,100
国庫補助金収入	411,426,645	分担金支出	10,000,000
地方公共団体補助金収入	343,261	借入金等返済支出	111,100,000
その他の補助金収入	0	施設関係支出	690,071,117
資産運用収入	172,947,345	設備関係支出	207,235,279
資産売却収入	300,000	資産運用支出	700,406,949
事業収入	72,125,665	その他の支出	47,465,738
雑収入	221,474,190		
前受金収入	760,504,250		
その他の収入	951,637,253		
資金収入調整勘定	952,519,910	資金支出調整勘定	90,558,082
前年度繰越支払資金	7,260,318,827	次年度繰越支払資金	7,198,410,233
収入の部合計	13,225,910,972	支出の部合計	13,225,910,972

2009年度消費収支計算書(2009年4月1日～2010年3月31日) (単位 円)

消費収入の部		消費支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金	4,028,399,750	人件費	2,750,410,466
手数料	117,708,950	教育研究経費	1,655,276,636
寄付金	197,527,303	(うち減価償却額)	(551,034,102)
補助金	411,769,906	管理経費	484,127,161
国庫補助金	411,426,645	(うち減価償却額)	(22,526,253)
地方公共団体補助金	343,261	借入金等利息	25,664,100
その他の補助金	0	分担金	10,000,000
資産運用収入	172,947,345	資産処分差額	8,183,709
資産売却差額	155,100	徴収不能引当金繰入額	110,000
事業収入	72,125,665		
雑収入	227,915,756	消費支出の部合計	4,933,772,072
帰属収入合計	5,228,549,775	当年度消費収入超過額	689,869,110
基本金組入額合計	984,646,813	前年度繰越消費収入超過額	4,449,278,930
消費収入の部合計	4,243,902,962	翌年度繰越消費収入超過額	3,759,409,820

る項目以外では、収入には、現物寄付金として、教育後援会から寄贈をいただいた学食のうがい器や手洗い設備など、新型インフルエンザ対策の整備が含まれています。支出には減価償却額が含まれており、教育研究用の減価償却額は4.5号館の建築やリース取引の物件の資産計上も含め、前年度比3.3%増、管理用の減価償却額は20.8%増となりました。4.5号館の建築があり基本金組入額が増額したために、当年度消費支出超過額は6億9000万円となりました。

貸借対照表

学校法人の目的である教育研究活動を達成するために、施設や設備など各種の膨大な運用財産を必要とします。貸借対照表は、これらの財産の保有状況を表し、教育研究に必要な財産が適正に維持・

管理されているかどうかを示すものです。

ここで資産は、保有する土地、建物、現金預金などを示し、負債とは、借入金や退職給付引当金など、いずれ支出となっていくものを示します。基本金は、学校法人が必要な資産を永続的に維持するために、帰属収入のうちから組入れたものです。この基本金と消費収支差額の合計が正味財産となります。貸借対照表は、学校法人真宗大谷学園全体のものをホームページで公表しています。本法人は、大谷大学・大谷大学短期大学のほか、九州大谷短期大学、大谷高等学校、大谷中学校、大谷幼稚園を設置しています。また、本法人の「財産目録」もあわせてホームページに掲載していますので参照してください。

2010年度予算

2010年度予算は、3月25日に開催された学校法人真宗大谷学園理事会・評議員会において承認されました。

大谷大学では、仏教の精神によって、人間としての使命を自覚的に遂行する意欲をもった人物を育成することを基本とし、今日までその歴史を積み重ねてきました。

学生の皆さんが、さまざまな「学び」と「出会い」を通して真に人間として身につけてはならない智慧を得られるよう、教育研究の拡充と、キャンパス内の環境と施設を整備し、充実した大学生活を過ごせるように予算を編成しました。

今年度予算には、講堂の音響・録画設備等を、講演会のインターネット配信などの情報配信に対応した機器へ更改するための経費や、開設2年目を迎える教育心理学科の教育実習に向けたサポーターや採用試験のための各種講習など、支援体制充実のための経費が含まれています。

なお、2010年度「資金収支計算書」および「消費収支計算書」は、本学のホームページで公表しています。

大谷大学・大谷大学短期大学部 2009年度事業報告

教育及び学生支援に関する事業

中央教育審議会の答申を踏まえての検討

「学士課程教育検討会」を立ち上げ、建学の理念の現代的な意味や、現行カリキュラムの可視化に取り組み、「学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」「入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）」を策定しました。

決定された前述の3ポリシーは、ホームページ上で社会に対して公表しています。

教育・心理学科立ち上げに関する支援

新しく建築した4号館に教職支援センターを配置し、ピアノレッスン室での個人練習や、各種ボランティアの紹介、履修相談・指導等きめ細かなサポート体制をとっています。また4号館には3名の学科教員の研究室もあり、細かな相談ができる体制が整っています。

さらに教育・心理学科の学生を中心として、近隣小学校での挨拶ボランティアを実施しています。その他に夏祭りや運動会なども本学への要請があり、地域連携をより深めています。

国際交流の促進

イギリス・フランス・中国の3カ国への語学研修、文化研修に44名の学生を派遣しました。また修士課程に3名、博士後期課程7名、文学部に1名、留学研究生15名、合計26名の留学生を受け入れたほか、本学学生を韓国の東國大学校、東西大学校、中国の東北師範大学、上海交通大学、チベット大学、南京大学、南開大学、厦門大学、オーストラリアのボンド大学、フランスの国立高等教育院、カナダのトロント大学に送り出しました。

入学前教育の拡充

専願制の入学制度（自己推薦入試・指定校制推薦入学制度）により早期に入学を決定した入学者予定者に対して入学前教育を行いました。各学科で課題の内容を検討し、読書と課題レポートやスクリーニングを行いました。

既存の情報インフラを活用した学生支援

「メール配信」「安否確認」のシステムを2009年10月1日より学生向けにリリースしました。

これは、学生が希望する情報がWeb上に掲載されると、携帯電話にメールで知らせるというサービスです。さらにこれを利用して、地震や水害などが起きた場合、同時にメール配信して学生の安否を確認するシステムです。2010年3月末には約600名の学生がアクセスしています。今後、更に周知する予定をしています。

課外教育行事の実施

2009年度は、1回目を7月8日（水）に芥川賞作家津村記久子氏（2000年3月本学卒業）を招き、講演&トークセッションを行いました。また2回目を1月13日（水）に映画「スラムドック\$ミリオネア」の上映会とこの映画の原作者であるインド総領事ヴィカーススワループ氏の講演会を実施しました。

健康管理・厚生事業の拡充

食育について、保健室受付付近に体脂肪モデル・ファーストフードモデルを置き、来室した学生に食事回数やバランスの取れた食事について適宜指導を行っています。学内食堂委託業者とは学生・教職員の食生活の問題点や食堂の利用について検討しました。今後、献立や栄養価表示の改善などを実施していく予定です。

また、スモーカーライザーを購入し、学園祭で呼気二酸化炭素濃度測定を実施するなど、喫煙防止教育を行っています。

学生の進路・就職支援

文部科学省の「平成21年度大学教育・学生支援事業」に申請し、採択された「学生のニーズや適性に応じた総合的な就職支援体制の強化」事業を推進しました。また、低学年からのキャリア支援として新たに「キャリアマインド形成セミナー」「キャリアアップセミナー」を開講しました。その他、就職対策講座やセミナーなども強化・充実させて実施しました。

学術及び研究に関する事業

学位授与

優れた研究業績をまとめ、博士の学位申請を行った者の中から厳密な審査を経て、2009年度は課程博士6名、論文博士1名、合計7名に対して博士（文学）を授与しました。

真宗総合研究所の研究

学長を代表者とする指定研究として、(1)大谷大学親鸞聖人750回御遠忌記念特別指定研究―親鸞像の再構築―(2)国際仏教研究(3)西蔵文献研究(4)大谷大学データベース研究(5)真宗本廟(東本願寺)造営史研究(6)真宗同朋会運動研究(7)大谷大学史料室の7件一般研究として採択された共同研究4件、合計11件の研究プロジェクトを推進しました。

外部資金による研究活動

本学では、真宗総合研究所を中心に外部資金による研究活動の推進に取り組んでいます。2009年度科学研究費補助金の採択結果は、本学教員を研究代表者とする研究では、基盤研究が8件と若手研究が6件でした。本学教員を研究分担者とする研究は8件ありました。

その他に、本学教授が、2009年10月1日に株式会社KDDI研究所とインターネットの通信品質についての共同研究をスタートしました。この共同研究には、インターネットに関心を持つ学生たちも参加しています。最新の技術現場の一端を直に経験できることが期待されています。

組織及び施設に関する事業

認証評価結果を契機とした大学改善の推進

本学は、2009年3月に大学基準協会の大学基準、短期大学基準にそれぞれ適合していると認定されました。それを受けて2009年度は、評価結果が勧告あるいは助言が付された事柄について、課題の整理、対応策への提言等の議論を

行いました。また、「学生による授業評価アンケート」を、7月と12月に実施し、各教員の報告並びに報告書に取り纏めました。「在学生満足度アンケート調査」を11月に実施し、アンケート結果の分析を重ね、報告書に取り纏めました。

4号館・5号館の整備

教育・心理学科の設置に合わせて新しく教室棟を建築しました。2009年4月に着工し、8月中旬に完成引渡しとなりました。その後備品を搬入し、9月18日（金）から使用を開始しています。

社会への開放

ホームページサイトのリニューアルの実施
大学広報・情報公開・学生募集に加えて、教育・研究内容の情報発信を強化するためにホームページサイトをリニューアルしました。

2009年8月に新サイトを公開しましたが、サイトの訪問回数は順調に伸びています。また利用者の使いやすさを確認するため、日経BP社のサイト評価を受けました。全国の国公私立では12位、近畿では2位に相当するスコアを獲得するなど、高く評価されています。

公開講座の開催

本学教員が講師を務め、開放セミナー、紫明講座、京都学講座、博物館セミナーなどを年間通じて開講しました。2009年度は24テーマの講座を開講し、計986名の受講生がありました。

博物館

毎年、年1回の特別展と4回の企画展を実施しています。2009年度の特別展は韓国東國大学校博物館からの借用文物を中心に、東國大学校博物館との共催で「祈りと造形―韓国仏教美術の名品―」をテーマに展示しました。特別展では昨年引き続き学生による展示解説ガイドを実施しました。また展示期間中、記念講演会を行いました。

教育後援会評議員会が開催される

6月30日(水)13時30分より、大谷大学において教育後援会評議員会が開催されました。

評議員会では、2009年度の事業報告・決算報告に続いて、役員選出、2010年度の事業計画・予算(案)・「大谷大学教育後援会家計急変奨学金規程」の二部改正について(案)等の審議がなされ、承認されました。

また、大学側(草野顕之学長、門脇健学監・文学部長、木越康学生部長)からは、大谷大学の教育方針、教育・研究活動の現況や、在学生の学生生活指導等について説明がなされました。

なお、詳細につきましては、8月に保証人の皆様へ送付いたしました「大谷大学教育後援会報告書」をご高覧ください。



父母兄弟懇談会について

「父母兄弟懇談会」は、教育後援会役員ならびに大学当局のほか、各関係事務部門の職員が出席して、大学の現状を説明し、個別の相談にも応じる懇談会です。また、大学出席者とご父母兄弟とのコミュニケーションを密にすることも、ご父母兄弟の皆様相互の親睦を図つていただくため、懇親会も併せて開催いたしております。

本年度は、7月に地区父母兄弟懇談会を関東地区・東北地区にて、また、9月に全国父母兄弟懇談会を本学にて開催いたしました。各会場とも、個別相談コーナーでは熱心な相談が寄せられ、懇親会ではなごやかな雰囲気の中か交流が深められました。

なお、今後の開催につきましては左のとおりです。今後開催されます当該地区の皆様には、多数ご参加いただきますようお願い申し上げます。

◆東海地区父母兄弟懇談会

開催日/12月4日(土)

開催地/静岡市

会場/静岡グランドホテル中島屋

開催日/12月5日(日)

開催地/名古屋

会場/名鉄ユーグレランドホテル

教育後援会

大谷大学教育後援会は、全在学生の保証人(父母兄弟等約4,000名)が会員となって組織され、大谷大学の教育・研究の発展と、学生生活環境の整備・改善に支援を行っています。また、会員相互並びに会員と大学との交流を深めることも目的に、各種の活動を行っています。なお、毎年、役員会・評議員会を開催して様々な事業計画を企画・推進しています。

教育振興資金(募金)について

このたびは、教育振興資金局の募金活動にご協力いただき、ありがとうございます。ご寄付いただきました資金は、教育・研究の充実を図るための環境整備に充ててまいります。

また、本学は文部科学省から「特定公益増進法人」の認可を受けています。これらの寄付金には税法上の優遇措置(減免税措置)が受けられます。

今後も引き続き、募金のお申し込みを受け付けておりますので、ご支援賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、2010年2月1日から2010年7月31日までの間、ご寄付いただいた方々のご芳名は右のとおりです。厚く御礼申し上げます。

教育振興資金寄付者(敬称略)

安部 浩一	長谷岡 英信	山田 武司
今川 雅照	日野 泰暁	吉田 美奈子
江崎 眞一	平野 紹寿	匿名(1名)
小野 隆志	深井 昭弘	NPO法人 尋源舎
柿木 広昭	藤井 茂	(有)石間企画事務所
河野 哲了	北條 秀樹	(株)フラットエージェンシー
佐伯 光義	前田 光雄	大谷大学短期大学部 文化学科
田鶴浦 昭典	松木 正寿	陽願寺(出雲路 広称)
龍山 了祐	馬淵 克一	空蔵寺(大山 龍秀)
坪井 一義	源 進一	浄玄寺(櫻井 之貫)
中嶋 観雄	美濃部 俊裕	正覚寺(鳥添 信生)
橋本 一哉	村居 悟	法専寺(二宮 俊隆)
		養願寺(日野 康宣)

- 教育振興資金(募金)のお問い合わせについては、
- 下記までご連絡ください。

教育振興資金事務局

〒603-8143
京都市北区小山上総町 大谷大学校友センター内
TEL:075-411-8124 FAX:075-411-8157
E-mail:kouyu@sec.otani.ac.jp

件数 37件

寄付金総額 5,484,746円

温暖化対寒冷化

国際文化学科 講師
鈴木 寿志
専門分野/地質学、古生物学

今年の夏はやたらと暑かった。連日35℃以上の猛暑日や熱中症で○人死亡という新聞記事が目についた。局地的な集中豪雨、土石流、極端な雨不足。異常気象が頻発するようになった。これらは地球温暖化の所為であると一般的にはいわれている。そして地球が温暖化しているのは化石燃料を燃やす際に排出される二酸化炭素が主な原因であるという。

しかし、今年の春はなかなか暖かくならなかった。桜の花が咲く中、雪がちらついたりもあつた。野菜が育たなくなり高騰した。5月末の時点で、気象庁は今年の夏は気温が低めであろうと予報していた。

地球温暖化が環境問題の主軸に据えられて久しい。しかし、当初から心ある研究者たちは、二酸化炭素濃度の増加が地球温暖化の原因であると明言していない。事実のみに目を向けると、次のようである。

- (1) 過去100年間に地球大気中の二酸化炭素濃度が280ppmから380ppmまで上昇した。
- (2) 過去100年間に地球の平均気温が約1℃上昇した。

これらの事実をどう解釈するかで見解が異なってくる。一般的には、二酸化炭素濃度が上昇したから、地球の平均気温が上がったと解釈される。しかし両者が全く関係なく独立した観測事実であることもあり得るし、逆の因果関係も成り立つ。二酸化炭素は水によく溶けるが、

水温が低いほど良く溶け、水温が高いとあまり溶けない。すなわち、地球が温暖化することで海水温が上昇し、海水に溶けなくなった二酸化炭素が大気中に放出されたというのである。

ではなぜ地球が温暖化したのか？実は太陽が活発に活動しているからだという意見がある。ネイチャー誌に掲載されたGolmanたちの論文(2004年)によれば、過去65年間太陽活動は活発で、温暖化の原因になったとされる。そして現在の活発な太陽活動はすでに長く続いているので、そろそろ終わりを迎えるだろうという。太陽活動の低調期がやって来るのである。

太陽活動が縮小するとうなるのであろうか？実は私たちの祖先は、すでに太陽活動の低調期を経験している。17世紀後半から18世紀初頭の小氷期(マウンダー極小期)とよばれる時代である。このころ日本は江戸時代で、気温の上がない冷夏の所為で米の不作が続き、たびたび飢饉が起こった。

今年の春は寒冷化を予感したが、夏になると温暖化しているのだろうかと思つた。いったいどちらだろうか？そう思つていたある日、ラジオニュースで今年の猛暑の原因が話されていた。それによると猛暑の直接の原因は偏西風の蛇行現象にあるらしい。なんだ、風の気まぐれか？いずれにしても、いつもより健康管理に気をつけて、寒暖差の大きな季節を乗りきっていきたいものである。

じんげん asile とは？

本学の「赤レンガ」は、1913年に建てられた本学のあゆみを象徴する建物です。当時、紫明通は疎水で、大学と市の中の間には尋源橋という橋がかけていました。尋源館の名称はその橋に由来。「橋」は離れた場所を結ぶもの。「じんげん」と名づけられたその橋を、当時の学生や教職員はどのような思いで行き来したのでしょうか。「asile(アジール)」は中世以降に存在した公的な避難所のこと。問題を抱えたものは一旦退避して、生きる道を探したのです。情報化・効率化が高度に進む現代社会にもアジールが必要です。美しく飛び回る蝶にはさなぎの時が必要であるように、社会に向かつて力強く飛び出していくみなさんのアジールのような大学でありたい。そんな願いを込めて命名しました。



編集後記

新しくなった大谷大学広報誌はいかがでしたか？従来発行してきた「大谷大学広報」と「大谷大学通信」を統合し、「学生・ご父母兄弟・教職員の三者で大谷大学を共有する広報誌」をコンセプトに、掲載記事やデザインを今回リニューアルしました。

大谷大学をより身近に感じてもらえるような広報誌を目指し頑張ります！

また、タイムリーな情報は本学ホームページで発信していますので、あわせてぜひご覧ください。
(編集担当)

